

ガス爆発、費用増加：難問山積

命が一番大事。万博中止を

大阪市議会
特別委員会

日本共産党・山中智子議員が質問

大阪市議会の2025年大阪・関西万博推進特別委員会が17日開かれまし
た。日本共産党の山中智子議員は、夢洲の会場建設現場で起きたガス爆発事故
への対応、万博協会が示した安全対策の問題点を明らかにし、横山英幸市長
（大阪維新の会幹事長）に「危険な夢洲での万博開催は考え直すべき」と中止
を決断するよう迫りました。

爆発事故後の 事態の推移は

大阪湾のどみの最終処分
場である、夢洲1区の会場
建設現場で3月28日に起き
た爆発事故は、地下の廃棄
物から出ているメタンガス
に、溶接作業中に発生した
火花が引火したことによる
ものです。

山中氏は「メタンガスの
危険性はもちろんだ、事故が
あって以来の事態の推移も
怖い」と述べ、消防への通
報は事故発生から4時間半
後で、最初に公開された事
故現場の写真は、全容が分
かりにくい一枚だけだった
と指摘。万博協会が6月24
日に公表した会期中の安全
対策について、「本当に安
全なものと考ええるのか」
と、たずねました。

万博推進局は、安全対策
は専門家の意見を聞きなが
らまとめたものだと言弁。
メタンガスの継続的な測定
・調査や、換気対策を実施
すること、安全に万博
を開催できるよう取り組む
ことについて述べた。

質問する山中議員17日、2025大阪・
関西万博推進特別委員会



安全神話に 貫かれている

山中氏は、「これまでも
専門家の意見を聞いていた
はずなのに、爆発事故が起
きた」と反論。芝浦工業大
学（東京都江東区）の福積
真哉教授（地盤工学）が、

万博推進局は、安全対策
は専門家の意見を聞きなが
らまとめたものだと言弁。
メタンガスの継続的な測定
・調査や、換気対策を実施
すること、安全に万博
を開催できるよう取り組む
ことについて述べた。

ている夢洲1区を会場にす
ることには、最初は全く想定
されていなかったと強調。

「危険だと指摘されていた
のに、大丈夫だと言ってや
ってき、爆発事故が起き
た。対策を取ると言われて
も、本並に安全なのかと思
わざるを得ない」と述べま
した。

山中氏は、万博協会や
国、大阪府は「安全第
一」を語りながら、安全対
策で必ず責任を持つと誰も
言おうとしないと言調。
「最も陥ってはいけないの
は、『安全神話』だが、こ
の間の一連の動きは『安全
神話』に貫かれており、非

常に怖い」と語りました。
困難や課題は
増えるばかり

山中氏は、昨年11月の決
算特別委員会で質問し、世
論調査で約7割が「万博は
不要」と答えるなど批判が
高まり、入場料で賄う運営
費が赤字になれば、さらに
市民や府民の負担が増える
と指摘。「今止めよう」とが
一番傷が少なくて済む」と
して、開催地の首長として
中止を決断するよう、横山
市長に求めました。

「あの時よ事態は一層
深刻になっている」と山中
氏。発生し続けるメタンガ
ス、「万博よりも能登半島
地震の復旧復興を」と求め
る声、万博の事業費がさら
に膨張する恐れなど、「困
難や課題は増えるばかり。
事態を冷静に見て、いった
ん立ち止まるべきだ」と迫
りました。

横山市長は「子どもたち
に夢や希望を感じてもらう
ために、課題には対応す
る。安全・安心の下で、に
ぎやかに開催したい」と開
催に固執。山中氏は「夢
も希望も大事だが、命が一
番大事だ。命だけは取り戻
せない。立ち止まるべき
だ」と主張しました。

山中氏は、万博への児童
・生徒の無料招待事業の意
向調査で「参加しない」と
いう選択がないう中で、学
校として「行かない」とは
言いにくい」と、調査のや
り直しを府に提案するよ
う、横山市長に要望。「子
どもの命、安全を最優先
に、市教委として『参加あ
りき』ではない対応を」と
求めました。